

令和元年度事業報告書（なんぶ エリア）

- 1 令和元年度総括（成果、反省等を簡単に）
 - 1) 圏域内である米子市永江地区において、米子市及び包括支援センターと共にフレイル対策モデル事業（調査及び筋力向上指導）を開始し、初年度計画（対象住民の約半数に実施）を終えた。令和2年度は継続実施の完了年であり、他圏域着手への足掛かりとして寄与するものと思われる。
 - 2) 地域密着型事業の多展開により、其々の運営推進会議を整理集約し、地域選出委員に苑全体の同事業が理解できるよう工夫しており、事業所への住民参加も定着した。また業務に限らず、職員集団活動として地域内の一斉清掃を年2回開催した。
 - 3) 令和2年に入り、新型コロナウイルス感染症流行に伴い、利用者との面会制限、来訪者の事業所立ち入り制限を設けるなど業務に影響が生じ、新たな感染対策を実施、計画することとなった。大型複合施設ならではの防疫対策の難しさがあるものの、BCPに沿って感染症再来に備えている。

- 2 トピックス（新規事業、重点実施事業等（独自で実施している地域貢献活動含む））
 - 1) 米子市永江地区の高齢化問題等地域の福祉支援に対応すべく、鳥取県、米子市、地区住民代表と協議を開始した。
 - 2) 老人保健施設で使用している特別浴槽2台が老朽化したため開苑以来23年ぶりに更新し、28年度に更新した特養使用の2台と合わせ、新機種の特別浴槽4台がフル整備された。
 - 3) キッズタウンさくらでは、園外保育の安全のためマニュアルを見直し、危険個所にガードレール設置の要望が叶った。
 - 4) 献血運動協力20年継続により米子市長から感謝状を頂いた。

- 3 エリア目標の達成度合とその評価（戦略会議の資料等）
 - 1) 地域の情報センターになる

地域防災、課題、資源合同したガイドマップの作成。エリア内他法人を含めた情報の共有化(病気、かかりつけ医の把握)、HH、訪看システムの活用と適切な選択を行う。

フレイル対策、やさしい街づくり事業の継続と介護助手、ボランティアの活動内容を整理活躍の場を提供する。

：尚徳地域で最後まで暮らし続けられるガイドブックの作成までには至らず、口頭ではサービスや資源については説明できているので、次年度作成、活用を目指す。

生活支援ニーズを共有し、自費でのサービスの共有や周知はほぼでき、介護助手、ボランティアの活用につなぐことが出来た。
 - 2) 認知症、リハビリ、看取りの3本柱の確立

エリアの機能を活用し、大規模多機能化(パッケージ化、パターン化)のサービスを構築、リハビリ職員の在宅、施設での活動内容を明確化、看取りのノウハウを在宅医と共有する。

：大規模多機能化パッケージ化、パターン化のサービスの素案まではできた為、次年度活用を目指し活動継続する。

3) 指導できる中堅層の育成

基礎研修の継続とエリア研修の再構築、研修アンケートを作成（参加者・講師）し、参加者の選定、講師（中堅層）の選定、研修内容の見直し、研修時間の見直しを行う。

：基礎研修をリーダー層に聴講してもらい次年度から講師予定とした。エリア研修は活動計画をすべて実行できた。研修アンケートでは前年度質問項目 1) 満足度 7 以上 92%⇒91% 2) 91%⇒94%の結果であり、満足度が元々高かった為目標値に至らなかったが、独自アンケートでは高評価であった。

4) 働きやすい職場環境の構築

なんぶエリア全職員に独自のアンケートを作成・実施し結果を分析・課題を整理する。それを基に改善計画を作成し実施する

：本部発信のアンケートは実施出来ているが独自のアンケートの作成実施が出来なかった為、具体的な内容把握が十分できず、本部発信の結果から改善計画に繋げた。

5) 実習、ボランティア、見学者の満足度向上

実習内容のルール化、オリエンテーションの統一、担当を作る、新たなボランティアの提案
米子高校の事業継続、尚徳中学校、成実、五千石小学校の継続
学習支援の継続

：新期ボランティア受け入れ件数 3 件（内 1 件は定期）。全体 実 866 人、延 1,209 人
対前年比 実 112.4% 延 97.6%

各種学校の受け入れ実績 実 220 人、延 786 人、学習支援受け入れ実績 中学生：延 203 人、
高校生：延 197 人 大学生：延 413 人

ボランティア、実習生受け入れの際のルールにまだ差が発生している為、事前説明書類として
エリアで統一書式の作成を行う。

6) ICTの先行導入

エリアにて先行した提案を行う。効果的な利用者情報の共有方法について、エリア内にて研修、
協議の場を設けて課題を整理し、具体的な運用計画の雛形を作成する。

：施設系 ワイズマンによる記録入力ソフト（現ソフトへの追加形式）プレゼン実施。ソフトに
ついて確認を行った。又、ミモテ導入に向け法人での動きに同調し事業責任者等を対象に研修
会へ参加。

在宅系 動画マニュアル作成アプリの導入に向けデモ運用を実施。訪看がワイズマンタブレッ
ト版の導入に向けステップアップ委員会で具体的な検討開始している

7) 間接業務の効率化

全事業にて間接業務の整理効率化を図り、働き方改革に合わせた情報共有を行う

：県老健協広告及び県補助金活用で介護助手の導入をした（5名）。おむつや消耗品（洗剤類・ご
み袋等）の業者による定数管理実施。3月勤務実績(エリア全体) 対4月勤務実績比:時間数 52%、
時間外手当 61%（50%減達成：2事業所、3月時間外0：2事業所）が達成できた。

4 入所系事業所（デイハウスは登録人数）の稼働率の推移（稼働率：小数点第1位）

事業所名	定員（人）	令和元年度（%）	平成30年度（%）	平成29年度（%）
介護老人福祉施設	80	99.4	報告済	報告済
ユニット型介護老人福祉施設	24	99.1	報告済	報告済
介護老人保健施設	36	83.2	報告済	報告済
ユニット型介護老人保健施設	44	83.0	報告済	報告済
ケアハウス	50	98.7	報告済	報告済
グループホームなるみ	27	99.4	報告済	報告済
デイハウスごせんごく	29	93.0	報告済	報告済
デイハウスくずも	25	84.6	報告済	報告済
ビスターレごせんごく	10	98.7	報告済	報告済
生活支援ハウス	20	92.0	報告済	報告済

5 各エリアの取り組み実績

年間行事一覧	<ul style="list-style-type: none"> ○初詣 ○花見 ○夏まつり ○長寿を祝う集い ○供養会 ○運動会 ○紅葉見学 ○年忘れ会 ○もちつき大会 ○防災非難訓練 ○水難防災避難訓練 ○学習支援 ○ごせんごく十三夜の夕べ ○奥谷自治会活動参加/地区運動会/子どもみこし/除草作業 /成実保育園との交流/地域の方参加の防災訓練/さくら保育園とさつま芋づくり（なるみ）くずも秋祭り（DHくずも）
エリア内研修状況 延回数 103回 延べ人数 1,582人	<ul style="list-style-type: none"> ○新規採用者 ○5つの基本とPCC ○防災（火災、水害） ○エルダー制度 ○5Sの推進 ○キャリアパス ○人事考課 ○ストレスマネジメント ○ファシリテーション ○口腔ケア ○排泄 ○リスク（KYT） ○救急法 ○看取り ○接遇 ○嚥下 ○回想法 ○インターライ ○食事 ○認知症 ○表皮剥離 ○褥瘡・スキンケア ○手洗い ○ノーリフティング ○身体拘束 ○車椅子の調整方法 ○DCM ○法令順守・プライバシー ○重要事項説明書 ○PCAポンプ研修会 ○トロミ剤説明 ○労働災害 ○労務管理 ○食中毒 ○感染症 ○エルダー発表会 ○施設設備 等
エリア内会議、委員会活動	<ul style="list-style-type: none"> ○なんぶ幸朋苑エリア内調整会議 ○衛生委員会 ○職員会議 ○ISO委員会 ○入浴委員会 ○リスクマネジメント委員会 ○ケアプラン委員会 ○食事検討委員会 ○研修委員会 ○排泄検討委員会 ○地域交流委員会 ○褥瘡予防 ○感染予防対策委員会 ○なんぶ幸朋苑エリア看護師会 ○リーダー会 ○チーム会 ○在宅会議 ○広報誌委員会

	<p>○ノーリフティング委員会 ○ケアカンファレンス会議（随時）</p> <p>○苦情解決第三者委員会 ○ふれあいの橋の会</p> <p>○毎月なるみ通信発行（GH）</p>
<p>委員会活動等の 成果・実績・反省</p>	<p>○看護師会：情報共有・感染予防（感染症ラウンド実施し対策と改善を実施、感染症対応のDVD作成し各事業所へ配布、保健所職員による感染症講義）・地域貢献事業（地域サロン・永江フェスティバルへ講師参加、夏祭りで「健康測定・健康相談・フットケア」企画実施）・薬関連（各部署誤薬発生の年間状況確認し対策と啓発実施）・看護師会主催の自主研修実施（「健診結果より～検査値が示すもの」24名参加、「アルコールの上手な付き合い方」15名参加）</p> <p>○在宅会議：在宅各サービス事業所責任者が情報共有・提供し地域包括ケアの基盤整理実施（毎月）各サービスの稼働状況を共有し、自サービス以外の紹介により稼働率改善に繋がった。</p> <p>また、利用者の動向や利用者の適正なニーズなどを把握しながら新しい通所サービスの機能分化の検討</p> <p>○なんぶ幸朋苑リスク委員会：ヒヤリ・事故についての検討（毎月）、車両スロープ転倒事例、離苑事例について、情報発信と法人内共有を図った。ノーリフティング関連事故について削減に向けた取り組みを行った。対前年比：（転倒 94.9%）、（苦情 93.5%）、薬関連（128%）、表皮剥離（140%）。薬関連の是正が多く、要因分析の他、現場の根本原因を含めて再発防止につなげていく必要がある。</p> <p>○エリア研修委員会：基礎研修をリーダー層に副講師として参加してもらい、指導できる中堅層の育成を図った。次年度は講師予定。月例研修では、2～3年目に向けた参加型の研修を3カ月同じメンバーで実施。講師は主任が担当し、研修員がアドバイザーとなり実施。研修アンケートでは前年度質問項目 1) 満足度7以上 92%⇒91% 2) 91%⇒94%の結果であり、満足度が元々高かった為目標値に至らなかったが、独自アンケートでは高評価。</p> <p>○苦情解決第三者委員会：第三者委員に対する定期報告・意見交換会の実施（3回）、対応依頼1件（介護提供に関して家族との相違について）、なんぶ幸朋苑エリアでの事故、軽微なご意見を共有、予防的な取り組み推奨あり。</p> <p>○地域交流委員会：ボランティア表彰、意見交換会の実施、ボランティア来苑数増加傾向であったが、R2.3以降新型コロナウイルスの影響で入館制限を設けた影響もあり、来苑数前年比減となる。</p> <p>○通所事業所にてご利用者/ご家族向け注意喚起（転倒/インフルエンザ/脱水/ノロウイルス）お便り配布（4回/年）。</p>

6 人財状況

<p>外部研修等講師派遣実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○米子高校 2年『生活と福祉』 矢倉・作野・執行・ ○米子高校 3年『記録の書き方、報告・連絡・相談』 濱崎 ○米子高校 1年『高齢者・車椅子体験』 原・船本 ○米子高校 1年「高齢者疑似体験」 包括職員 ○五千石小学校 3年生「認知症・高齢者疑似体験」 包括職員 ○成実小学校 3年生「認知症絵本教室」 包括職員 ○尚徳小学校 3年生「認知症絵本教室」 包括職員 ○鳥取大学医学部附属病院・在宅医療推進看護育成研修講師 『看取り研修:地域・在宅での死を考える』 武良 ○西部在宅ケア研究会例会 発表者 武良 ○鳥取大学医学部 臨床教授 武良 ○鳥取大学医学部附属病院 T-HOC 講師 武良 ○鳥取県西部地区心不全パス準備委員会 役員 武良 ○鳥取県訪問看護の質の向上を目指す研究会 役員 武良 ○YMCA 米子医療福祉専門学校 外部講師小谷・松本・射場・藤原 ○米子南高校調理コース介護食実習 外部講師 射場・藤原 ○痰吸引研修・演習講師 12名 ○介護職員初任者研修 講師 13名 ○実務者研修 講師 15名
<p>外部役職就任状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○鳥取県介護ロボットのニーズ・シーズ連携強調協議会 委員 山中・原 ○鳥取大学医学部 臨床教授 武良 ○鳥取大学医学部附属病院 T-HOC 講師 武良 ○鳥取県西部地区心不全パス準備委員会 役員 武良 ○鳥取県訪問看護の質の向上を目指す研究会 役員 武良 ○日本認知症予防学会代議員 伊藤
<p>外部表彰受賞状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○県社協会長表彰(社会福祉施設功労者): 濱田、濱崎、徳永、細田、山崎 ○米子市社協会長表彰(社会福祉施設功労者): 杉田、大塚、植田、前田、前田、篠岡、落合、荒金、小島、下田、平木、松浦、佐藤、万波、国畑、深田、大原 ○米子商工会議所優良従業員表彰: 武田、森

7 地域貢献実績 (保育所含む)

<p>実習受け入れ実績 <u>延人数 808 人</u></p>	<p>○日本福祉大学 ○鳥取大学医学部 ○鳥取大学医学部保健学科 ○鳥取看護大学 ○鳥取大学医学部附属病院 ○美作大学 ○在宅医療推進の為の看護師育成プログラム(T-HOC) ○鳥取市医療看護専門学校 ○米子医療センター附属看護学校 ○米子北高校看護専攻科 ○神戸常磐大学短期大学部 ○看護サマーセミナーin 鳥取(鳥取県) ○YMCA 米子医療福祉専門学校(介護、PT、OT) ○島根リハビリテーション学院 ○島根総合福祉専門学校 ○米子医療センター退院調整看護師研修 ○松江総合医療専門学校 ○山陰中央専門大学校こども総合学科 ○鳥取短期大学幼児教育保育学科 ○境港総合技術高校 ○米子高校 ○米子南高校 ○尚徳中学校 ○成実小学校 ○介護実習科初任者研修 ○職業訓練校 ○鳥取県消防学校</p>
<p>ボランティア受け入れ実績 <u>実人数 866 人</u> <u>延人数 1,209 人</u></p>	<p>○大正琴 ○フルート ○サクソ ○ハーモニカ ○コーラス ○腹話術 ○社交ダンス ○学習支援(指導、立会い) ○傾聴 ○外出 ○習字 ○音楽療法 ○俳句 ○読み聞かせ ○フラワーアレンジメント ○生け花 ○郷土の歴史 ○喫茶 ○カラオケ ○三線 ○腹話術 ○門松作り ○もちつき ○行事手伝い ○生活支援 ○ふれあいの橋の会 ○脳トレサポーター ○米子南高校ファッションショー ○米子高校茶道部 ○米子高校書道同好会 ○五千五区公民館同好会(フラダンス, 銭太鼓, ひょっとこ踊り) ○成実自治会 ○奥谷自治会 ○奥谷子供会 ○園芸除草 ○米子北高サッカー部等</p>
<p>見学受け入れ実績 <u>実人数 151 人</u></p>	<p>○利用見学 ○米子高校 ○下関リハビリテーション病院 ○大阪府立大学 ○圏域内 4 地区民生. 児童委員 ○DCM 中国交流会</p>
<p>地域交流活動実績 1 <u>実施回数 75 回</u> <u>延人数 2,520 人</u></p>	<p>(事業所内又はこうほうえんが主催した交流事業) ○支え愛カフェいしい ○支え愛カフェ永江 ○五千石相談カフェ ○永江包括支援センター相談室 ○開苑夏祭り ○ごぜんごく開苑 8 周年記念行事 ○東みずほ幼稚園との交流 ○成実保育園との交流 ○さくら保育園との交流 ○くずも祭り ○成実小学校との交流会 ○五千石小学校との交流会 ○十三夜の夕べ ○米子南高校ファッションショー ○米子南高校茶会 ○米子高校書道パフォーマンス</p>

<p>地域交流活動実績 2 実施回数 13 回 延人数 163 人</p>	<p>(地域の交流事業に利用者と共に参加したもの) ○さくら保育園餅つき ○さくら保育園焼き芋大会 ○奥谷子供みこし ○成実小学校学習発表会 ○成実小学校運動会 ○尚徳公民館「花いっぱい運動」 ○くずも夏のステージ ○さくら保育園夏祭り ○なんぶダイケアタ涼み会 ○さくら保育園夏祭り ○さくら保育園ちまき作り ○成実公民会祭 ○五千石公民会祭</p>
<p>ボランティア・環境 活動参加実績 1 投入人数 451 人</p>	<p>(清掃活動・消防団活動・地域防災活動等) ○成実消防団活動 82 回延べ 139 人 ○奥谷一斉清掃 ○日野川一斉清掃 ○五千石一斉清掃 ○奥谷レクリエーション ○車尾一斉清掃 ○中海アダプトプログラム ○成実保育園園庭整備 ○米子市一斉清掃 ○奥谷溝掃除 ○成実自治会合同地域清掃 ○なんぶ幸朋苑クリーン活動</p>
<p>ボランティア・環境 活動参加実績 2 投入人数 167 人</p>	<p>(見守り活動・学校活動の手伝い等) ○成実小学校通学児童交通安全見守り(毎日)</p>
<p>地域発信活動実績 (介護、看護の日、 イベント開催等)</p>	<p>○成実、五千石、永江公民館祭りへの作品出展 ○成実地区運動会への職員参加 ○学習支援事業(尚徳、福生、福米、淀江、東山中学校、米子東、米子西高校)</p>
<p>地域発信活動実績(認知症サポーター養成講座)</p>	<p>回数、養成者数、資格者投入人数は、必ず記入してください。 ○米子高校 2 回 82 名 投入 30 名 ○尚徳小学校 65 名 投入 15 名 ○成実小学校 50 名 投入 15 名 ○五千石小学校 20 名 投入 3 名 ○淀江小学校 184 名 投入 2 名 ○加茂小学校 88 名 投入 1 名 ○住吉小学校 107 名 投入 1 名 ○福生小学校 80 名 投入 1 名 ○箕蚊屋小学校 46 名 投入 1 名 ○明道小学校 51 名 投入 1 名</p>
<p>地域発信活動実績 (講習会、講演会の主催 及び参加等)</p>	<p>○永江やってみらいや塾 ○五千石やってみらいや塾 ○成実やってみらいや塾 ○グリーンハイツサロン ○新山サロン ○石井サロン ○榎原サロン ○奈喜良サロン ○福市ビタミンサロン ○八幡サロン ○五千石小学校車椅子、高齢者体験 ○五千石カフェ</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○成実小学校車椅子、高齢者体験 ○米子高校高齢者体験 ○体力測定会 ○永江地区講座 ○五千石地区講座 ○尚徳公民館地区講座 ○成実公民館祭 ○永江公民館祭 ○尚徳公民館祭 ○五千石公民館祭 ○尚徳地域体力測定会 ○尚徳地区「優しい地域づくり」 ○永江地区「優しい地域づくり」 ○成実地区「優しい地域づくり」○五千石地区「優しい地域づくり」 ○ショッピングリハビリ ○石井地区 後期高齢者口腔モデル事業 ○「優しい地域づくり」研修 ○新規事業～永江フレイルモデル事業
--	--